

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月 1日 更新

事務事業名		ファミリー・サポート・センター事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	こども部
	施策	5	こども・子育て支援の充実		所属課	こども未来課
	業務分野	19	地域における子育て支援		所属班	こども支援班 (内線)
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10585 法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始 事業期間			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員(利用会員、協会員)を組織し、コーディネイトする。(合志市社協へ委託)急な残業の際など、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応するため、地域における育児に関する相互援助活動をファミリー・サポート・センター事業として、平成6年に国が規定。合志市では平成14年度から実施。ファミリー・サポート・センター事業については、平成28年度で1,724自治体中833箇所で開催中。合志市のファミリー・サポート・センターは県内でも登録会員数や活動件数からみても熊本市に次ぐ規模であり県からも評価を得ている。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

ファミリーサポートセンター事業を委託により実施した。従来のファミリーサポートでは対応困難な緊急時の支援として、「緊急サポート」も実施した。(利用者数 令和7年度3月現在:1,100人)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

ファミリーサポートセンター事業を委託により実施する。

③予算の主な増減の理由

緊急サポートの実績減に伴う委託料の減

成果指標

- ア ファミサポ利用件数
- イ ファミサポ相談件数
- ウ

(単位)

データ取得方法

- 件
- 件

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	件	1,945	1,648	2,000	1,100	2,000	2,000	2,000	0
イ	件	1,007	863	500	832	500	500	500	0
事業費	国庫支出金	千円	6,053	5,586	6,420	4,920	11,506	5,753	5,753
	都道府県支出金	千円	5,753	5,120	6,420	4,920		5,753	5,753
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	5,454	8,554	6,420	9,420	5,754	5,754	5,754
(A) 事業費計	千円	17,260	19,260	19,260	19,260	17,260	17,260	17,260	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

活動内容も、利用者にも即したものであり、登録会員数は年々増えている。仕事と育児の両立等のための環境整備が図られている。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)